

泰明だより



Taimei・平成 30・1 1

泰明小ホームページ <http://www.chuo-tky.ed.jp/taimei-es/>

中央区立泰明小学校 第337号
中央区銀座五丁目1-13
Tel 03(3571)1765
Fax 03(3571)0672

追想

校長 和田 利次

本校の卒業生であられる国文学者池田彌三郎先生の著作『わが町銀座』（サンケイ出版）の中にこのような一節があります。少年時代の数寄屋橋公園での場面が語られています。「…とりわけ、夏の夕暮れはよかった。まだ暑さは残っているのに、日は残らなくなって、あたりが薄ぼんやりしてくると、公園の空には蝙蝠が出て飛んでいた。みんなで、草履を投げたり、石をぶついたりするのだが、捕まえたことはついに一度もなかった。そんな時刻になると、公園のそとの水汲み場には、街路に水をまく撒水車が戻ってきた。…」数寄屋橋公園の近辺に給水施設があったのですね。

震災後の公園整備が進んでいるところのお話かと判断したのですが、少年達の夏の日の一こまが浮かんできます。現在の数寄屋橋公園は、しっかり整備され、多くの方々にとって憩いの場となっていますが、この少年達のような光景は見られないだろうと想いながら、アーチ形の校舎を眺めています。さらに、読み進めていくと、公園には毎日アイスクリーム売りの小父さんがいて、いわゆる買い食いをしたことや、撒水車の小父さんからアイスクリームをごちそうになり（本著ではおごってくれたと語られています）実は、その小父さんは、一緒に遊んでいた友達のお父さんだった、それをその友達が胸をはって言ったという一節もあります。少年達の心の描写がとてもさわやかで子ども世界の原風景を見るような思いで詠みました。また、卒業後、親しくしていた先生に、島崎藤村も北村透谷も泰明にかよった。こういう先輩がいたということを言い伝えていくことが大事な教育ではないか、というようなことを話され、これが具体化されたものが、玄関の脇にある石碑だということも著されています。親しくしていた先生の一人に、第21代校長の栗原九十郎先生もおられたそうです。

ところで、栗原先生も、昭和57年に発行された『ぎんざ1982』（株）日本リクルートセンター）に、当時、銀座に暮らす子ども達の様子を寄稿されています。裏通りを歩くと夜遅くまで子ども達が遊んでいたこと、そこは、子ども達にとって社交場であったと語られています。銀座は子ども達の街だった（現在でも、子ども達の街であると思っていますが）と改めて追想したのです。140周年を迎えた今年、平成最後の周年の日々となる年に感慨深く、お二人の語られる銀座を改めて受け止めさせていただきました。

泰明小学校140年の歴史のきらめく一こまであると感じています。

11月のカレンダー このマークはセカンドバッグ登校日です。

1	木		点字体験(4) ③④	B
2	金		4時間授業 銀座と泰明展一般開放	B
3	土		文化の日 子ども歌舞伎 銀座と泰明展一般開放	
4	日		銀座と泰明展一般開放	
5	月	講話	委員会活動⑥	A
6	火		4時間授業 就学児健診14:00～	B
7	水		式典予行のため4時間授業(1～4)	B
8	木		生活科見学(2)	B
9	金		式典準備のため4時間授業 読書週間(終)	B
10	土		開校140周年、開園65周年記念式典 銀座と泰明展一般開放	B
11	日		同窓会 ミニバスケットボール大会 銀座と泰明展一般開放	
12	月	講話	地域別児童会⑥ 安全指導 地域巡回指導	B
13	火		生活科見学(1) 手話体験(4) ①～④ 画廊巡り(3) 教育相談日 [1]	B
14	水			B
15	木		巡回平和展(始) シニア体験(4) ①～④ 教育相談日 [2]	B
16	金		教育相談日 [3]	B
17	土			
18	日		ミニバスケットボール大会	
19	月		教育相談日 [4] 5時間授業	B
20	火		避難訓練	A
21	水		ジャイアンツアカデミー (3) ③④	B
22	木			B
23	金		勤労感謝の日	
24	土			
25	日			
26	月	講話	クラブ活動⑥	A
27	火	泰明タイム・読書		A
28	水		巡回平和展(終) りぶりんと	B
29	木		学芸会前日準備	B
30	金		学芸会児童鑑賞日	A

() は学年、○は実施する授業時間です。

校長相談日 11月15日(木)

9:00～14:00

小学校140周年・幼稚園65周年記念式典

飯田 恵子

11月10日（土）、10時より講堂にて、中央区長 矢田美英様をはじめとして、大勢のお客様をお招きして、周年記念式典が行われます。ゆり組と5、6年生が、在園児・在校生を代表して出席します。「歴史と伝統ある銀座の街に息づくこの泰明で学んだことを胸に先輩方のようにみそらの星をかがみとして たゆまず歩いていきます。」これは、『よろこびの言葉』の最後のせりふです。出席する5、6年生は、『学校の顔』であることを自覚し、この言葉にあるように、泰明小で学ぶことの喜びや誇りを改めて感じてほしいと思います。また、当日は集会のみで下校してしまう1年生から4年生の児童には、集会でのお話や配布される物などから、泰明小学校にとって、11月10日が特別な日であることを理解してほしいと考えています。記念式典当日に向けては、学校や地域、卒業生などを対象に、過去・現在・未来を考える学習を、各学年の実態に合わせて実施しています。特別な日に向けて、子どもたちの心を育てる指導をしてまいります。

学芸会へ向けて

別府 陽子

11月31日（金）、12月1日（土）に学芸会が行われます。今年度は11月中旬に140周年記念式典を控えているため、例年より早い10月から練習が始まりました。校舎内を歩くと、劇の歌が聞こえてきたり、台本を持って廊下を移動する子ども達に出会ったりと、各学年、練習に励んでいる様子が伺えます。学芸会本番に向け、自信をもって堂々とセリフを言い、心をこめて歌うことができるよう、子ども達はみんな頑張っています。

ご家庭には、衣装作成などご協力をいただくことがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。学芸会当日には、子ども達の演技に温かい拍手を贈ってください。皆様のご参観をお待ちしております。

ありがとう月間

林 恵津

普段からお世話になっている方々に感謝の気持ちを伝えよう」をテーマに、代表委員会では、「ありがとう月間」を設定しました。期間は10月22日（月）～11月27日（火）までとなっています。

日頃から、子ども達の周りには、先生・主事さん・学童員さん・事務室の方・給食主事さん・PTAの方など、たくさんの方々がいて、支えてくださっています。今年度は、学校生活を送るにあたって、身近な方々に「ありがとう」の気持ちを伝えるために、各学年、趣向を凝らした伝達方法で、感謝の気持ちを伝えます。

保健講話

養護教諭 小美野 彩

本校では、毎月、学校医（内科）の林俊行先生と学校歯科医の石川文一先生が交代で保健講話を実施しています。全校児童を対象に、林先生には体や病気の話、石川先生には歯科に関する話をしていただいています。保健講話の歴史は深く、本校開校100年の際に発行された「泰明百年ものがたり」にも既に当時の保健講話の様子が紹介されており、記録に残る限りでも40年は続いている、大切に受け継がれている本校の特色ある教育活動の一つです。

10月は歯科の石川先生の講話で、「体の中で一番かたい歯はどのようにしてできているの？」をテーマにお話いただきました。低学年には難しい幹細胞と歯に関する話を、図工専科の協力でイラスト化し、わかりやすく解説していただきました。子どもたちは、毎月しっかりと話を聞き、毎回の積み重ねの中で、自分の体や歯について理解を深めています。